

武蔵野教育學論集第4号：目次,扉,執筆要項,奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2018-03-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/722

武蔵野 教育学論集

第 4 号

目 次

保育内容総論における乳児保育内容に関する一考察	日光 恵 利・榎 田 二三子	1
3～5歳児を持つ父親の育児参加及び育児におけるソーシャルサポート	齋 藤 慈 子・野 崎 茉莉	9
本学学生の音楽の基礎技能への活用について	伊 坪 千 恵・小佐野 実 穂・北 谷 久美子 櫻 井 佐多子・古 市 ゆり子・高 牧 恵 里	19
即興的音楽づくりの考察 ～異年齢交流活動としての可能性を探る～	長 坂 希 望	31
国語に関する意識の変容についての一考察	山 崎 淳	49
デジタルとアナログの統合による教師用指導書の開発 —GridOnPut システムを援用して—	佐 藤 克 士	55
次期学習指導要領に示された理科の能力に関する一考察	庭 野 正 和	63
新学習指導要領における保健体育科教育の在り方（保健編） —教員養成における質の向上を目指して—	堀 米 孝 尚・神 成 真 一	73
付箋を用いた英語授業研究協議 —若手英語教師の成長—	小 菅 敦 子・小 菅 和 也	81
小学校教員養成課程における英語運用能力の育成に関する一考察	櫻 井 千 佳 子	91
中学校・高等学校におけるサービスラーニングの実践 —地域教育の新たな実践—	小 澤 洋 祐・上 岡 学	109
◆◆◆ ◆◆◆		
奈良・薬師寺の国宝・佛足石の研究 —正面銘文として刻された書—	廣 瀬 裕 之・漆 原 徹・遠 藤 祐 介	127

武蔵野教育学論集

第四号

(2017)

武蔵野大学教育学研究所

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY
Faculty of Education
No. 4
CONTENTS

A Study of Infant Care in General Remarks on Nursery Contents	NIKKO Eri / ENOKITA Fumiko	1
Childrearing and Social Support in Fathers of 3-5 Years Old Children	SAITO Atsuko / NOZAKI Mari	9
On the Application of Basic Music Skills to Our University Students	ITSUBO Chie / OSANO Miho / KITATANI Kumiko SAKURAI Satako / FURUICHI Yuriko / TAKAMAKI Eri	19
The Effects of Improvisational Music Making on Cross-age Group	NAGASAKA Nozomi	31
A Study of the Transition of the Awareness about Japanese Language ...	YAMAZAKI Atsushi	49
Developing Teaching Manuals that Integrate Digital and Analog Formats: Using the GridOnPut System	SATO Katsushi	55
A Study about Ability in Science Education Next (New) Course of Study	NIWANO Masakazu	63
Health Education in New Course of Study —Aiming at the Improvement of Teacher Training—	HORIGOME Takahisa / KANNARI Shinichi	73
Study Meetings Using Comment Notes to Improve English Lessons	KOSUGE Atsuko / KOSUGE Kazuya	81
A Study of English Language Proficiency in Elementary School Teacher Training Program	SAKURAI Chikako	91
Practice of “Service-Learning” at Junior and Senior Highschools —New Practice of Community Education—	OZAWA Yosuke / UEOKA Manabu	109
 		
A Study of Bussokuseki (stone imprint of Buddha’s feet), a National Treasure at Yakushi Temple in Nara: About the Sho Engraved as the Front Inscription	HIROSE Hiroyuki / URUSHIHARA Toru / ENDO Yusuke	127

武蔵野教育学論集執筆要項

2013 年 10 月 10 日制定

2016 年 7 月 14 日改正

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教職研究センター員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または (2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教職研究センターから依頼したもの
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開する。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学教職研究センター紀要投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は 1 人 1 編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等

① 字数

16,000 字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1 ページ 43 字×38 行とする。

*縦書きの書式は、1 ページ 30 字×25 行の 2 段組とする

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 口絵として研究作品写真を掲載することができる。

(1) 研究作品は、原則としてその年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(2) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(3) 掲載の採否及び順序は、編集委員会が決定する。

9 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。

武蔵野教育学論集 第4号

2018年3月1日発行

編 集 武蔵野教育学論集編集委員会

発 行 武蔵野大学教育学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印 刷 株式会社 多摩ディグ

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-31

電話 042-384-2491
